平成26年度 福井県警察官(男性A)(女性A)採用試験概要

■申込書配布開始日 : 5月13日(火)

■受付期間 : 6月2日(月)~6月16日(月)

■第1次試験日 : 警察官(男性A) 7月12日(土)~7月13日(日)

警察官(女性A) 7月13日(日)

■第1次試験会場: 福井県立大学(永平寺町)

※申込書は5月13日(火)にホームページにも掲載します。

1 試験区分、採用予定人員および職務内容

試験区分	採用予定人員	職務内容
男性A	48人	警察官として、個人の生命、身体および財産の保護、 犯罪の予防、鎮圧および捜査、被疑者の逮捕、交通の
女性A	5人	取締その他公共の安全と秩序維持のための任務に従事します。

[※]採用予定人員は変更になる場合があります。

2 受験資格

警察官採用試験は、「男性A」、「男性B」、「女性A」、「女性B」の区分に分けて行いますが、この試験の募集対象は次の試験区分「男性A」および「女性A」(大学卒)該当者です。なお、試験区分「男性B」および「女性B」(高校卒業程度)に該当する者については、9月に採用試験を予定しています。

試験区分	学 歷	年齢・性別
男性A	学校教育法による大学 (短期大学を除 き、人事委員会が同等と認めるものを	昭和59年4月2日以降に 生まれた男性
女性A	き、人事委員会が同等と認めるものを 含む。)を卒業した者または平成27 年3月31日までに卒業見込みの者	昭和59年4月2日以降に 生まれた女性

ただし、次の各号のいずれかに該当する者は受験できません。

- ① 日本の国籍を有しない者
- ② 地方公務員法第16条の欠格条項に該当する者
 - ア 成年被後見人または被保佐人(準禁治産者を含む。)
 - イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けること がなくなるまでの者
 - ウ 福井県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を 暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入し た者

3 試験の方法

次により、第1次試験と、第1次試験合格者に対して第2次試験を行います。

絬					
	〔配点〕	内 容			
	教養試験	整窓庁として必要な一般的知識おとび知能について 大学卒業程度で提一式			
	2時間30分	警察官として必要な一般的知識および知能について、大学卒業程度で択一式 による筆記試験を行います。			
	〔100点〕	による手門	100人で 1	V & 9 0	
		警察官として職務遂行上必要な身体的条件について、次の項目により行いま			
		す。			
		検査項目	-th-	基	推 (
				答察官(男性A)	警察官(女性A)
		身長		ね160センチメート であること	おおむね155センチメートル以上であること
	身体的条件				おおむね45キログラム以上
	検査	体重	である		であること
				ね78センチメートル	
		胸囲	以上で	あること	_
第			両眼と	もに裸眼視力が 0.6以	上または矯正視力が1.0以上
		視力	である	こと	
1		色覚	職務遂	行上支障のないこと	
V L.		その他	職務遂	行上支障のない健康体で	ぎあること
次		警察官とし	て職務遂	行上必要な体力について	て、次の項目により試験を行いま
弒		す。			
					T 海
, ,		試験項	目	##& ===	基準
験		試験項	[目	警察官(男性A)	警察官(女性A)
		試験項		37キログラム以上で	警察官(女性A) ごあ 21キログラム以上であ
				37キログラム以上でること	警察官(女性A) であ 2 1 キログラム以上であること
			1	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回	警察官(女性A)ごあ 21キログラム以上であること回以 30秒間に5回以上行え
	体力試験	握力 上体起、	こし	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回 上行えること	警察官(女性A)ごあ 21キログラム以上であること30秒間に5回以上行えること
	体力試験 〔50点〕	握力	こし	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回	警察官(女性A)ごあ 21キログラム以上であること30秒間に5回以上行えること
		握力 上体起、	こしとび	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回 上行えること 20秒間につき31回 上行えること	警察官(女性A)ごあ 21キログラム以上であること可以 30秒間に5回以上行えること可以 20秒間につき27回以上行えること
		上体起。	こし とび m	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回 上行えること 20秒間につき31回	警察官(女性A)ごあ 21キログラム以上であること国以 30秒間に5回以上行えること国以 20秒間につき27回以
		握力 上体起。 反復横。 201 シャトルラ	こし とび m ン (注)	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回 上行えること 20秒間につき31回 上行えること	警察官(女性A)ごあ21キログラム以上であること回以30秒間に5回以上行えること回以20秒間につき27回以上行えること10回以上行えること
		握力 上体起、 反復横。 2 0 r	こし とび m ン (注)	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回 上行えること 20秒間につき31回 上行えること 18回以上行えること	警察官(女性A)ごあ21キログラム以上であること回以30秒間に5回以上行えること回以20秒間につき27回以上行えること10回以上行えること
		握力 上体起。 反復横。 201 シャトルラ 立ち幅。 柔道または	こし とび m ン (注)	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回 上行えること 20秒間につき31回 上行えること 18回以上行えること 162センチメートル 上であること	警察官(女性A)ごあ21キログラム以上であること回以30秒間に5回以上行えること回以20秒間につき27回以上行えること10回以上行えること以113センチメートル以
		握力 上体起、 反復横。 201 シャトルラ 立ち幅。	たび m ン(注) とび 剣道の段	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回 上行えること 20秒間につき31回 上行えること 18回以上行えること 162センチメートル 上であること 位初段以上について申記	警察官(女性A) ごあ 2 1 キログラム以上であること 可以 3 0 秒間に5 回以上行えること 可以 2 0 秒間につき2 7 回以上行えること 1 0 回以上行えること レ以 1 1 3 センチメートル以上であること 青のあった場合に、一定点を加点
		握力 上体起、 反復横。 201 シャトルラ 立ち幅。 柔道または します。	たび m ン(注) とび 剣道の段 申込書提	37キログラム以上で ること 30秒間につき12回 上行えること 20秒間につき31回 上行えること 18回以上行えること 162センチメートル 上であること 位初段以上について申記	警察官(女性A)ごあ21キログラム以上であること回以30秒間に5回以上行えること回以20秒間につき27回以上行えること上行えること10回以上行えることレ以113センチメートル以上であることまのあった場合に、一定点を加点を取得している人
		握力 上体起。 反復横。 201 シャトルラ 立ち幅。 柔道または	フレーとび m ン (注) とび 剣道の段 申込書携	37キログラム以上でること 30秒間につき12回上行えること 20秒間につき31回上行えること 18回以上行えること 162センチメートル上であること 位初段以上について申記 提出期限までに次の段位を 1段以上((公財)講道館	警察官(女性A) ごあ 2 1 キログラム以上であること 回以 3 0秒間に5回以上行えること 回以 2 0秒間につき2 7回以上行えること 1 0回以上行えること レ以 1 1 3 センチメートル以上であること 青のあった場合に、一定点を加点を取得している人質の認定に限る。)
	〔50点〕	握力 上体起、 反復横。 201 シャトルラ 立ち幅。 柔道または します。	フレ とび m ン(注) とび 剣道の段 申込書携 剣道初	37キログラム以上でること 30秒間につき12回上行えること 20秒間につき31回上行えること 18回以上行えること 162センチメートル上であること 位初段以上について申記 は期限までに次の段位を の段以上((公財) 講道館 の段以上((一財) 全日本	警察官(女性A) であ 2 1 キログラム以上であること 回以 3 0 秒間に 5 回以上行えること 回以 2 0 秒間につき 2 7 回以上行えること 1 0 回以上行えること 1 0 回以上行えること よのあった場合に、一定点を加点を取得している人 の認定に限る。) に剣道連盟の認定に限る。)
	段位加点	握力 上体起。	し とび m ン(注) とび 剣道の段 申込書道初 申込書間	3 7 キログラム以上でること 3 0 秒間につき 1 2 回上行えること 2 0 秒間につき 3 1 回上行えること 1 8 回以上行えること 1 6 2 センチメートル上であること 位初段以上について申請 は期限までに次の段位に の段以上((公財) 講道館の段以上((一財) 全日本およびⅡの資格・段位が	警察官(女性A) ごあ 2 1 キログラム以上であること 回以 3 0 秒間に 5 回以上行えること 回以 2 0 秒間につき 2 7 回以上行えること 1 0 回以上行えること レ以 1 1 3 センチメートル以上であること まのあった場合に、一定点を加点 を取得している人の認定に限る。) の認定に限る。) 加点申請欄に記入してください。
	段位加点	握力 上体起、 反復横。 201 シャトルラ 立ち幅。 柔道または します。	し w (注) w (注) w 道 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	37キログラム以上でること 30秒間につき12回上行えること 20秒間につき31回上行えること 18回以上行えること 18回以上行えること 162センチメートル上であること 位初段以上について申記 は期限までに次の段位を 可段以上((公財)講道館 可段以上((一財)全日本 およびⅡの資格・段位 およびⅡの資格・段位 に入した段位については、	 警察官(女性A) ごあ 21キログラム以上であること 回以 30秒間に5回以上行えること 回以 20秒間につき27回以上行えること 10回以上行えること 10回以上行えること よであること まのあった場合に、一定点を加点 を取得している人の認定に限る。) の認定に限る。) の調道連盟の認定に限る。) 加点申請欄に記入してください。 、段位授与機関((公財)講道館
	段位加点	握力 上体起。	し w (注) w (注) w 道 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	37キログラム以上でること 30秒間につき12回上行えること 20秒間につき31回上行えること 18回以上行えること 18回以上行えること 162センチメートル上であること 位初段以上について申記 は期限までに次の段位を 可段以上((公財)講道館 可段以上((一財)全日本 およびⅡの資格・段位 およびⅡの資格・段位 に入した段位については、	警察官(女性A) ごあ 2 1 キログラム以上であること 回以 3 0 秒間に 5 回以上行えること 回以 2 0 秒間につき 2 7 回以上行えること 1 0 回以上行えること レ以 1 1 3 センチメートル以上であること まのあった場合に、一定点を加点 を取得している人の認定に限る。) の認定に限る。) 加点申請欄に記入してください。

松	論文試験	主として文章による表現力等をみるために、記述式による筆記試験を
第 2	〔50点〕	行います。
次	口述試験	受験者の人柄および性格等をみるために、個別面接により行います。
武	[200点]	文映有の八帆ねよの性俗寺をみるために、個別囲後により1]('より。
験	適性検査	警察官として職務遂行上必要な素質および適性についての検査を行い
砂火	週往快重	ます。
そ	身体検査書の	第1次試験合格者に対し、職務遂行に支障をきたすおそれのある疾病
ての	提出	の有無をみるため、身体検査書の提出を求めます。
他	受験資格の	第1次試験合格者に対し、受験資格の有無について証明書等で確認し
TE	確認	ます。

(注) 20mシャトルランは、だんだん早くなる電子音に合わせて往復走を行い、持久力を 測定するものです。

【第1次試験受験上の注意】

- (1) 第1次試験(警察官(男性A)受験者は7月12日(土)、警察官(女性A)受験者は7月13日(日))において体力試験を行いますので、体育館用運動靴、運動のできる服装(半袖トレーニングシャツおよびショートパンツ等)、水分補給できる飲料および下足を入れる袋を持参してください。
- (2) 体力テストを受験するに当たっては、自己の責任で事前の体調管理を十分行い、 試験当日は、食事、水分および睡眠を十分取って受験してください。また、現在、 薬物治療中の方や持病等のある方は、あらかじめ主治医の許可を得た上で受験して ください。
- (3) 体力試験および身体的条件検査にはそれぞれ基準があり、ひとつでも基準を満たしていないものがある場合には、総合得点にかかわらず不合格となります。(当日、けが等の理由により体力試験および身体的条件検査の基準を満たしているか確認できない場合も、不合格となります。)
- (4) 服装について、特に指定はありません。クールビズを実施中ですので、軽装で受験してください。

4 試験の日時および場所

区分	試験日時	試験会場
第1次試験	警察官(男性A) 第1日 [体力試験] 平成26年7月12日(土) 集合時間は、受験票送付の際に指定された時間とします。 第2日 [教養試験、身体的条件検査] 平成26年7月13日(日) 集合時間:午前8時40分 試験終了予定時刻:午後1時ごろ	福井県立大学 吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1 第1日 体育館 第2日 共通講義棟
	警察官(女性A) 平成26年7月13日(日) [教養試験、身体的条件検査、体力試験]	福井県立大学 共通講義棟、体育館(体力試 験)

	集合時間:午前8時40分	吉田郡永平寺町松岡兼定島
	試験終了予定時刻:午後6時ごろ	4-1-1
		第1次試験合格者に交付する
第2次試験	平成26年8月中旬	第2次試験受験票に記載して
	(第1次試験日に発表します。)	通知します。(試験地は、福井
		市です。)

5 合格者の発表

区分	発表の日時	発表の方法
第1次試験 合格者	平成26年7月29日(火) 午前9時	合格者の受験番号を福井県庁1階 の掲示板および福井県人事委員会 事務局のホームページに掲載する ほか、合格者には郵便で通知しま す。
最終合格者	平成26年9月上旬 (第2次試験日に発表します。)	合格者の受験番号を福井県庁1階 の掲示板および福井県人事委員会 事務局のホームページに掲載する ほか、第2次試験受験者全員に合否 の結果を郵便で通知します。

6 受験手続および受付期間

申込方法	受験申込書に必要事項を記入し、提出してください。 「ふくeーねっと電子申請サービス」を利用してインターネット経由で 受験申込みができます。詳しくは、福井県人事委員会事務局ホームペー ジ内の「案内請求・申込み」のページを参照してください。	
受験申込先	福井県警察本部警務課 〒910-8515 福井市大手3丁目17番1号(警察本部4階) 福井県人事委員会事務局 〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号(福井県庁6階)	
受付期間	平成26年6月2日(月)から6月16日(月)まで (ただし、土・日曜日は除く。) 受付事務は午前8時30分から午後5時15分まで 「ふくeーねっと電子申請サービス」を利用して申し込む場合、上記の 受付期間最終日の午後5時15分までに正常に受信したものに限り受け 付けます。	
提出書類	申込書1部 (電子申請による申込みの場合を除く。)	

【受験手続上の注意事項】

(1) 郵便により申し込む場合には、封筒の表に「警察官(男性A)受験」または「警察官(女性A)受験」と朱書きし、必ず書留郵便にして福井県警察本部警務課または福井県人事委員会事務局へ申し込んでください。

なお、郵送の場合は、6月16日(月)までの消印のあるものに限り受け付けます。 (6月14日(土)以降の郵送は、速達書留にしてください。)

- (2) 試験案内配布開始日以降、福井県人事委員会事務局のホームページにも受験申込書の様式を掲載していますので、ダウンロードしてA4判の白紙に黒色で印刷し、それに必要事項を記入の上提出することもできます。ダウンロードした申込書により申し込む場合、受験票の作成が必要となります。
- (3) 受験申込書の受験票には、52円切手を必ず貼ってください。受験票は、受験申込書の持参・郵送を問わず、受付期間終了後に郵送で交付します。(電子申請により申込みをした場合は、受付期間終了後「ふくeーねっと電子申請サービス」を通じて電子データで交付します。)なお、6月30日(月)までに受験票が届かない場合は、福井県警察本部警務課に必ずお問い合わせください。
- (4) 写真は、申込みの時点では貼らないでください。受験当日に写真を貼った受験票を 必ず持参してください。写真の貼付漏れの場合や受験票を忘れた場合は原則として受 験することができません。
- (5) 受験の際提出された書類は一切返却しません。

7 合格から採用までの手続および将来

- (1) 最終合格者は、福井県警察官採用候補者名簿に記載された後、任命権者(福井県警察本部長)からの請求に応じて成績順に提示され、そのうちから採用される者が決定されます。 したがって、人事委員会が実施した試験に合格したら必ず採用されるということではありません。
- (2) 採用決定(別途本人に通知する。)後は、福井県の巡査に任命され、初任科生として 平成27年4月1日に警察学校に入校し、6か月間の初任教育を受けた後、各警察署 に配属されます。
- (3) 警察学校卒業後は、本人の努力次第で管区警察学校や警察大学校に入校し、幹部と しての教育を受ける機会が与えられ、上級幹部への昇進の道が開かれています。
 - ※ただし、平成27年3月31日までに大学(短期大学を除き、人事委員会が同等と認めるものを含む。)を卒業できなかった者は採用されません。

8 その他

この試験の詳細については、福井県人事委員会事務局、福井県警察本部警務課または福井県下各警察署に問い合わせてください。

福井県人事委員会事務局 〒910-8580 福井市大手 3 丁目 1 7番 1 号 TEL 0776-20-0593 (直通) 福井県警察本部警務課 〒910-8515 福井市大手 3 丁目 1 7番 1 号 TEL 0776-22-2880 (代表) 内線 2653・2654 フリーダイヤル 0120-207-110